

第 18 回議会報告会 報告書

地域名	浅野地区		
年月日	平成 30 年 10 月 22 日 (月)	会場名	木の香る浅野校区コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 15 分
参加数	男性 13 人	女性 0 人	合計 13 人
班 長	植村 和好	司会者	植村 和好
報告者	植村 和好、勝地 貞一、津崎 和男	書記	勝地 貞一
班員名	植村 和好、勝地 貞一、津崎 和男		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 八鹿病院の多額の赤字経営は市民と信頼関係構築が必要である。過去には、診察拒否された事例がある。</p> <p>また、豊岡病院等と役割分担をし、病院の経営等実態を市民に発信するべきである。</p>	<p>① 赤字経営は医師不足が大きな要因である。専門医師のいない医療科もあり前院長が病棟付け医として勤務している。また、専門医のいない脳外科、心臓疾患の対応は豊岡病院で行い役割分担している。</p> <p>病院議会でも取り上げているが、病院だよりも発行されており、病院からも直接地域に出向き病院の経営状況などを住民に説明し、理解を得ることにしている。</p>	
	<p>② 消防団の異常時（水防指令の発令）の出動について地元の消防団員は無報酬である。出動団員の出動解除は見極めの的確判断によってできる限り早く任務を解いてやるべきである。</p>	<p>② 水防指令は兵庫県より発令、市はこれを受けて消防団員へ出動要請（水防指令第 2 号）をする。ご意見はお聞きする。</p>	
	<p>③ 災害等で被害を受けた地区内の里道、水路の復旧は、補助金が出ても全額ではなく、人口が減少し高齢者の多い地区では負担するのが難しい。この状況のため、維持管理もできない状況で将来に向かい放棄することになるがどうか。</p>	<p>③ 災害復旧で補助金を活用して建設事業者へ依頼し対応されてはどうか。維持管理が困難な時は、自治協と相談されてはどうか。</p> <p>里道等は地区住民の生活用の道として利用しているので放棄するのではなく、維持管理をしていただきたい。</p>	

意見交換会での質疑	<p>① 砂防堰堤の維持管理はどうか。</p> <p>② 県道の路側の草刈ができていない。また、側溝の堆積土砂の除去もできていない箇所がある。</p> <p>③ 消火栓の設置を市に要請したが、3分の1は受益者負担とのことである。設置金額が150万円で負担は50万円と多額である。何とかならないか再度交渉している。</p> <p>④ 防災マップが地域ごとに作成されているが、一括りで表示されており安全な場所がないような表示になっている。</p>	<p>① 砂防堰堤の設置、維持管理は兵庫県（養父土木事務所）で、土砂が満砂の時は、堆積土砂の撤去か堰堤の新設になる。</p> <p>② 兵庫県が管理者だが、要望の窓口は市であるので区長名で要望されたい。</p> <p>③ 少し高額な金額、設置場所条件によるものと思われる。設置状況等の必要性を説明されたい。</p> <p>④ お聞きしておく。</p>
その他（提言など）		
<p>備考 議会報告会開催の周知について、再検討する必要があると感じた。</p>		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成30年11月2日

報告者 4班 班長 植村 和好

